

遠隔医療普及への期待とその課題

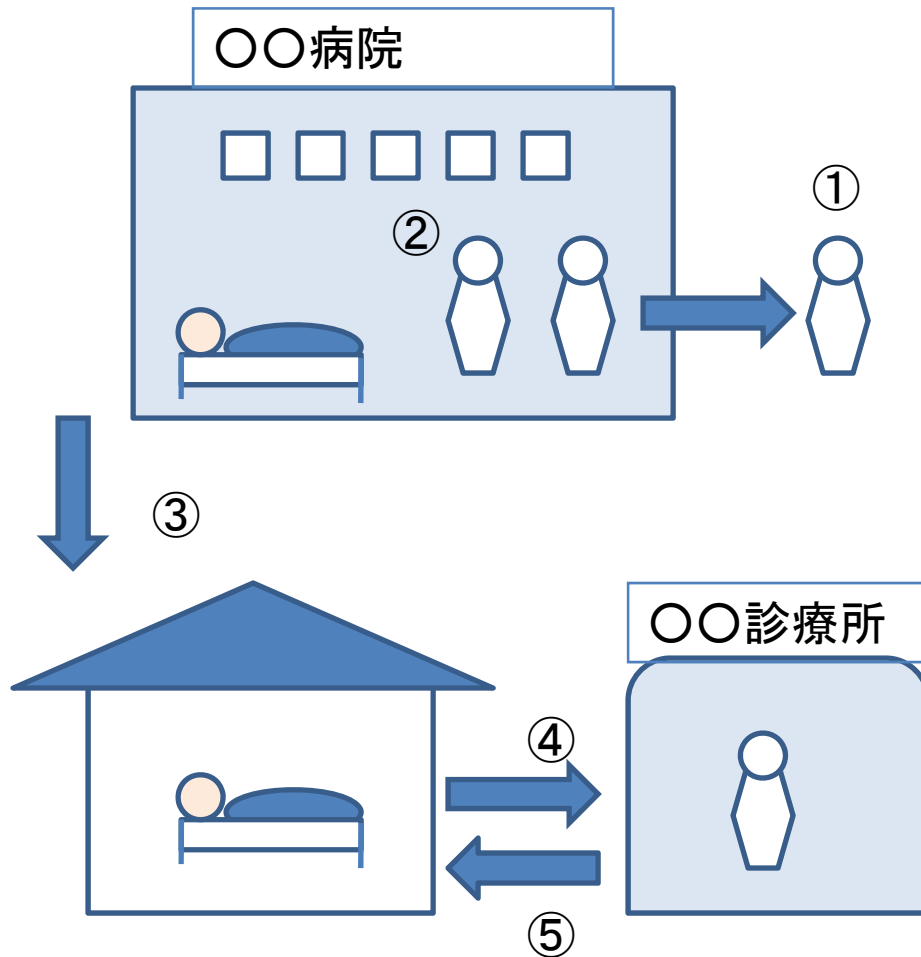
村瀬澄夫

信州大学医学部地域医療学講座

遠隔医療調査班

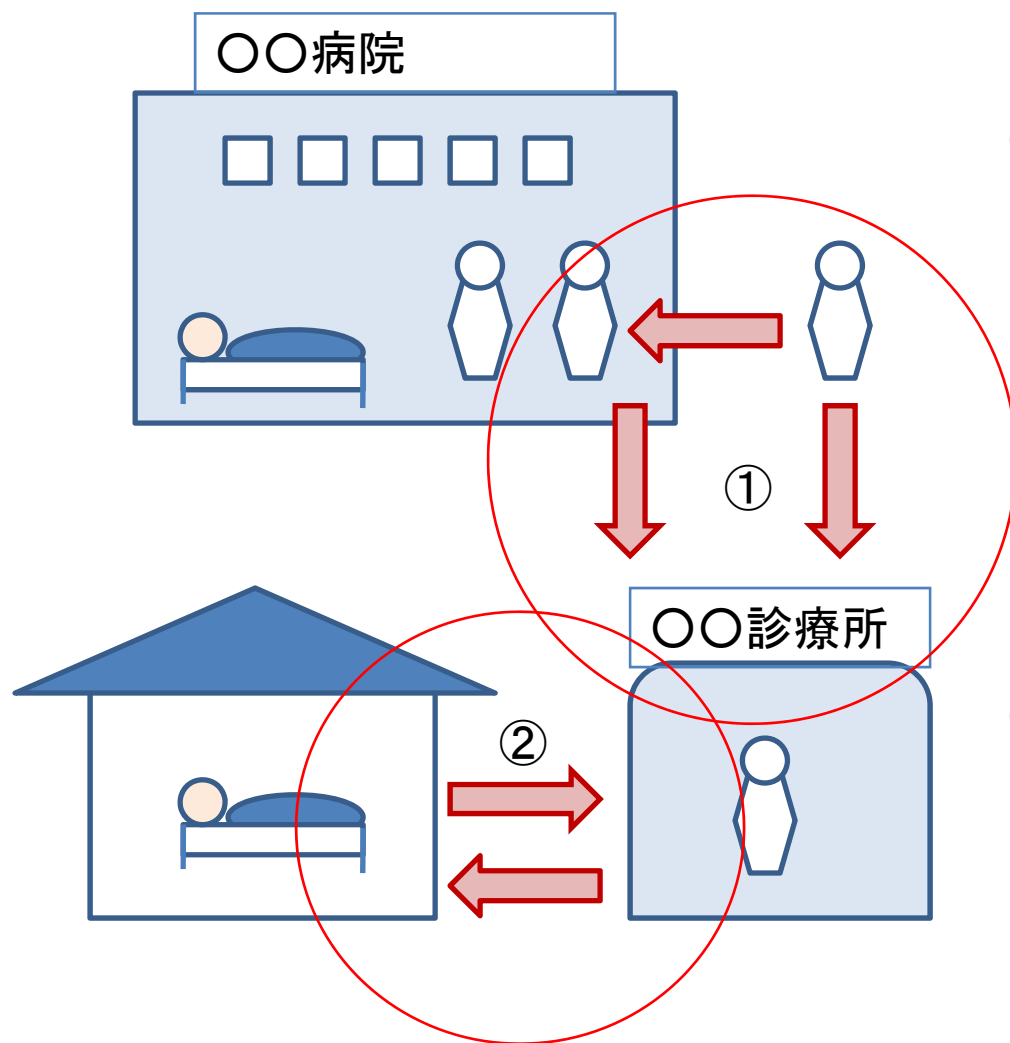
日本遠隔医療学会

地域医療疲弊の構図



- ① 医師の減少
- ② 残された医師に負担
- ③ 在宅医療の推進
- ④ 診療所への期待
 - 入院と同等の医療
 - 専門的診療
 - 24時間対応
- ⑤ 期待からの疲弊

地域医療支援として遠隔医療が必要



① 医師ネットワークの構築による

支えあい

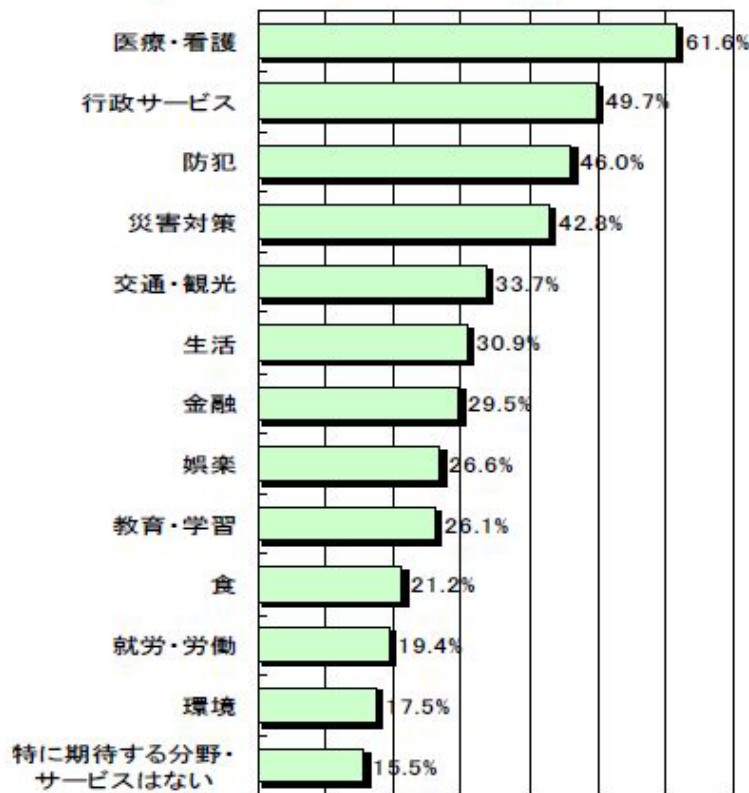
- 専門医による遠隔コンサルテーション
- テレワークの活用

② 在宅遠隔医療による診療補完

- 在宅24時間モニタリング
- 遠隔療養指導

遠隔医療への高い国民の関心

ユビキタスネットワークに期待するサービス



(出典)総務省「消費者のICTネットワーク利用状況調査」

日本国内における「遠隔医療」を
キーワードとするニュース記事の件数
(Google News 検索より)

年	件数	備考
2007	167	二日に一件のニュース
2006	87	
2005	85	
2004	41	
2003	26	
2002	19	
2001	24	
2000	15	
1999	10	

平成18年

その一方で普及は足踏み

平成15年度遠隔医療調査研究班報告

平成9年から平成15年にかけて、944件のプロジェクトが実施され、平成15年の時点では、288件の継続が確認された(終了等69件)。未確認の587件については、詳細は不明であるが、多くのプロジェクトは、研究的／試行的な取り組みで、研究期間および研究費の終了とともに中止に至ったと考えられる。

平成17年度医療施設静態調査

遠隔医療システムの導入状況(施設数)

	一般病院(7,952)	一般診療所(97,442)
遠隔画像診断	672 (8.5%)	1,061 (1.1%)
遠隔病理診断	142 (1.8%)	277 (0.3%)
遠隔療養支援	80 (1.0%)	885 (0.9%)

遠隔医療の実例



検査画像を共に観察しながら診断の支援

診療支援



旭川医科大学遠隔医療センター

静内町立病院



訪問した看護師からの報告と患者の様子に基づき療養指導の支援

在宅療養支援



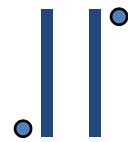
岡山県新見市 太田病院

新見市内患者宅

(実証実験として研究助成に負うところが大きい。運営経費基盤の確立が課題)

遠隔医療の普及に向けて

- 基本的な制度設計が重要
 - － 遠隔医療で何をどこまで実現するのか
 - － 現場のニーズの所在は
 - － がん拠点病院制度のような遠隔医療中核施設の整備は可能か



相互に強く関連

- 遠隔医療のサービス(ビジネス)モデルの確立
 - － どのように収益を確保するか
 - － 受益者負担、診療報酬化、費用の公的助成等は

国としての実態の把握と方向性の明示が期待される